

令和5年度出土遺物公開事業の成果報告

【流山新市街地地区の遺跡展～大地より出でし先人の足跡～】

今回の展示では、平成9年度から平成30年度にかけて調査された流山新市街地地区から、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中・近世の5つの時代について調査成果を紹介しました。

旧石器時代は、最終氷期最寒冷期の遺跡に焦点をあて、前後の時期に比べ石器石材の変化する様子を紹介しました。縄文時代では、前期中頃と中期後半のムラを中心に紹介し、トピックスとして東北南部からもたらされたとされる「有撮石器」^{ゆうさつ}を展示しました。古墳時代は、前期は遠隔地を含めて多様な出自を示す土器と火処や、祭祀跡とみられるミニチュア土器のセット、中期は石製模造品工房跡について製作工程の復元を中心に展示を行いました。奈良・平安時代は、仏教の広まりを出土骨蔵器とパネルで解説しました。近世では、江戸幕府によって営まれた牧につくられた野馬土手・野馬堀について、出土遺物とともに紹介しました。

各会場では展示解説会、ワークショップを実施し、9月2日(土)には流山市初石公民館にて講演会を行いました。

【会期】

- 流山市立博物館
令和5年 7月15日(土)～ 9月 3日(日)
- 八千代市立郷土博物館
令和5年10月14日(土)～12月 3日(日)
- 木更津市郷土博物館金のすず
令和6年 1月20日(土)～ 2月25日(日)



展示解説会



ワークショップ風景



講演会風景

令和6年度出土遺物公開事業の予告

テーマ 地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～ —千葉県教育振興財団設立50周年記念展 part1—

当財団は、昭和49年財団法人千葉県文化財センターとして発足して以来、令和6年に50周年を迎えます。50年間にわたり当財団が実施した埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物の中から選りすぐりの考古資料を展示し、千葉県の原始から中・近世までを振り返ります。

令和6年度はpart1として、旧石器・縄文・弥生時代の展示を行います。期間中には、展示解説会・ワークショップ・講演会・トークイベントなどを予定しています。ご期待ください！



槍先形尖頭器



鹿角製腰飾り



小銅鐸

【開催館と会期】

- 千葉県立房総のむら風土記の丘資料館
令和6年 9月21日(土)～11月17日(日)
- 千葉県立中央博物館
令和6年12月21日(土)
～令和7年 2月 9日(日)

【講座】

- 千葉県立房総のむら風土記の丘資料館
令和6年10月27日(日)

【展示解説会】

- 千葉県立房総のむら風土記の丘資料館
令和6年 9月29日(日)、11月 9日(土)
- 千葉県立中央博物館
令和7年 1月12日(日)、2月 2日(日)

【講演会】

- 千葉県立中央博物館
令和7年1月26日(日)

【ワークショップ】貝輪づくり

- 千葉県立房総のむら風土記の丘資料館
令和6年10月14日(月・祝)
- 千葉県立中央博物館
令和7年 1月11日(土)

【トークイベント】

- 千葉市生涯学習センター大ホール
令和7年1月19日(日)

※この展示に関わる予約方法や受付人数など詳細は財団ホームページほかで5月以降にお知らせします



房総の文化財 VOL.63

【遺跡紹介】

- ◆横芝光町 高谷川低地遺跡 (10) 縄文時代の丸木舟
- ◆高谷川低地遺跡の出土遺物見学会

【出土遺物公開事業】

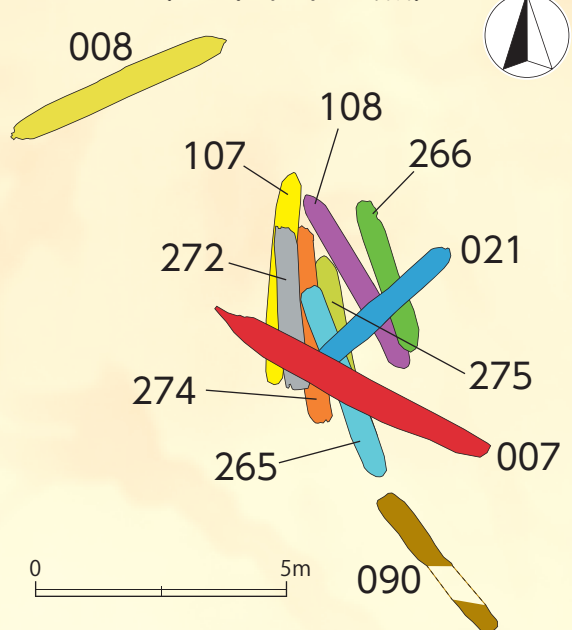
- ◆令和5年度の報告「流山新市街地地区の遺跡展～大地より出でし先人の足跡～」
- ◆令和6年度の予告「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～—千葉県教育振興財団設立50周年記念展 part1—」

遺跡紹介

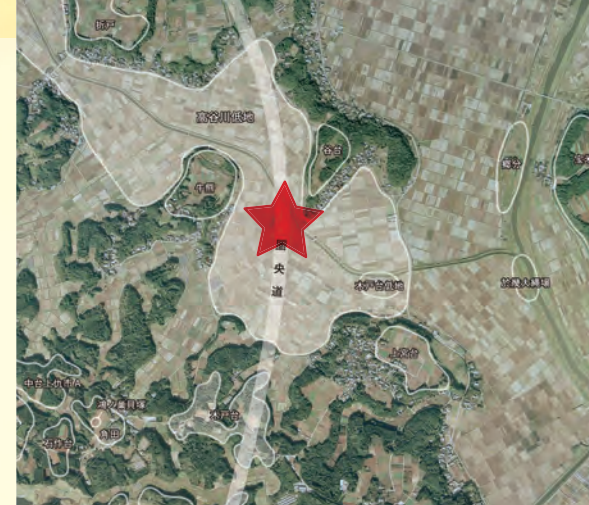
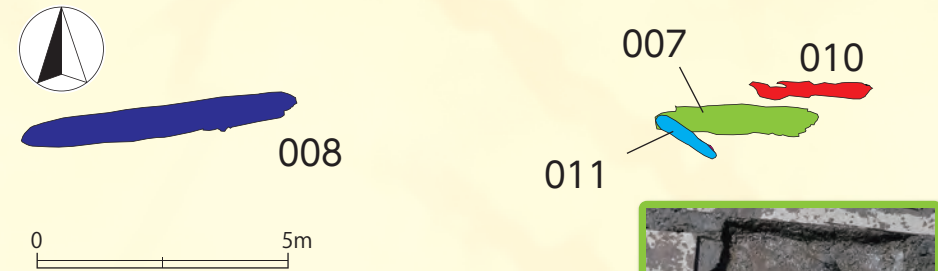
横芝光町高谷川低地遺跡 (10) 縄文時代の丸木舟15艘



SX001 (北部集中地点)



SX002 (南部集中地点)



高谷川低地遺跡



丸木舟出土地点

縄文時代の丸木舟は、これまで全国で約160艘が発見されていますが、そのうち千葉県出土のものは約80艘と国内最多です。とりわけ、東総地域の栗山川流域や九十九里浜沿岸中央部に集中しています。高谷川は栗山川の支流のひとつで、高谷川が栗山川に合流する付近の低地部では、古くから縄文時代の丸木舟や木製の櫂などが見つかっています。

今回、首都圏中央連絡道建設に伴い、この付近を令和4年と令和5年に発掘調査した結果、縄文時代後期(約3,500年前)の丸木舟15艘や漆塗りの櫂などが出土しました。丸木舟は、北部では11艘が密集した状態で、南部では4艘が並んだ状態で発見されました。

高谷川低地遺跡出土遺物見学会

見学会は、令和6年2月17日(土)に千葉県教育振興財団横芝作業所で開催しました。当日は、丸木舟、櫂、漆塗りの櫂などの木製品や、土器の展示と解説を行いました。

全6回、合計131名の方に御参加いただきました。見学した方からは、「貴重な丸木舟を実際に見れてよかった」、「漆塗りの櫂の鮮やかな色に感動した」、「縄文時代の木製品の加工技術に驚いた」などの感想をいただきました。



出土遺物 漆塗りの櫂

